

## プロが教える 2 級土木施工管理 第二次検定 正誤表・追加情報

### 正誤表

### 追加情報

令和 6 年度 施工経験記述最新情報(令和 6 年 10 月 8 日)

<https://www.youtube.com/watch?v=a8yjoOeMRs>

令和 6 年度 最新版 [土木] 新出題形式の施工経験記述の書き方;解答例あり

<https://www.youtube.com/watch?v=5MUIIa9Rrg&t=10s>

※「施工経験記述」の書き方(改正点)についての解説(追加情報)を次ページより掲載しています。

## ○ 施工経験記述の書き方

施工経験記述では、**2つのテーマと2つの問題**が出されると予想されます。

### 定番問題

工事概要に記述した現場における、現場で工夫した「工程管理」「品質管理」「安全管理」「環境策」について、次の事項について具体的に記述します。

- (1) 特に留意した技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目
- (2) (1) で記述した検討項目の対応処置とその評価

※ 年度により、設問方法が変わる場合があります。

### (1) 特に留意した技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目

ここでは、工事概要について簡単にまとめ、その現場特有の環境や気候、地形、地質、施工方法などによって発生する課題を記入していきます。

※ 土木の令和6年度の出題が8行であったため、2級は同様もしくはやや少な目の6~7行になるのでないかと予想されます。

(1~2行)

本工事は  場所  における、  数量  の  工事内容  工事である。

(2~3行) 課題の原因となる現場条件と課題

⇒  地形、地質、立地、交通状況、施工条件、季節（気候、天候）、

労務状況…等によって、「テーマ上」、 が技術的課題となった。

(1~2行) 検討した項目

課題を解決するため、、 について検討した。

[記入のコツ]

- ・現場概要
- ・ネタフリ
- ・検討内容

実施したことをここで記入しない。

[技術的課題の項目]

品質⇒気候（気温、湿度、雨、雪、乾燥、直射日光…）これらに対する材料の保管、施工の準備、施工上・養生の留意事項等

工程⇒気候（地質・土質、降雨；梅雨・ゲリラ豪雨・台風、降雪）、材料の搬入の遅れ、人員の不足、各種作業の取合い、作業時間の制限（道路工事や鉄道工事）等

安全⇒高所作業・足場作業（墜落災害）、重機に近接しての作業（接触事故）、歩行者や車の通行のある付近の作業（第三者災害）、クレーン作業（架空線との接触、転倒事故）、掘削作業（地下埋設物の損傷）等

## (2) (1) で記述した検討項目の対応処置とその評価

ここでは、課題解決のために〇〇〇〇を実施し、その結果どのような結果が得られたかを記入します。 工程管理の場合→「工期内に作業を終えることができた」／品質管理の場合→「所定の品質を確保することができた」／安全管理の場合→「安全に作業を終えることができた」…のように、「〇〇〇〇を実施した」その結果、〇〇することができた…と、それぞれのテーマの課題がクリアできたという評価を記入して、記述を締めくくります。

※ 土木の令和6年度の出題が8行であったため、2級は同様もしくはやや少な目の6~7行になるのでないかと予想されます。

① 実施した内容を具体的に（数値・結果等）記入

② 実施した内容を具体的に（数値・結果等）記入

※ 1項目2~3行で、2つないし3つ程度でまとめる

上記の項目を実施した結果〇〇となった（1~2行）

### 【記入のコツ】

- ・ ネタフリした事項をここで回収する。
- ・ まとめ（評価）  
工程、品質、安全それぞれ、ネタフリであげた技術的課題が解決することが出来た旨を最後に記入する。

## 応用問題

令和5年度以前は、「工程管理」「品質管理」「安全管理」「環境対策」もいずれかから2つテが出題され、選んで解答する問題でしたが、令和6年度1級土木施工第2次検定では、上記の定題に加えて以下のような問題が出題されました。

※年度により、出題方法が変わる場合があります。

工事概要に記述した工事の「**施工計画**」の作成に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 施工計画立案に先立ち行った現場の**事前調査で判明した施工上の課題**
- (2) (1) で記述した課題について施工計画の作成にあたり反映した**対応処置とその評価**

## (1) 施工計画立案に先立ち行った現場の事前調査で判明した施工上の課題

このテーマは令和6年から出題された新問題です。事前調査の内容としては、① **自然・気象条件の把握（地形、地質、土質、地下水、水文気象等）** ② **近隣環境の把握（工事によって支障を生ずる問題点、地下埋設物・架空線の有無）** 等が代表的な事項である。これらの条件によって施工管理上生じる課題を「施工計画の作成」段階における視点で記述します。

※ 土木の令和6年度の出題が8行だったので、2級は同様もしくはやや少な目の6~7行になるのでないかと予想されます。

(2～3行)

(事前調査の結果)  調査結果  によって,  であることがわかった。

(1～2行) 上記条件で発生する問題点

(2～3行) 問題点から技術的課題を選定

,  が技術的課題となった。

行数に合わせて、1～2つ課題を記入してください。

[記入のコツ]

- ・事前調査の結果
- ・調査の結果から課題を発見する

この出題パターンの場合、ここで検討したこと、実施したことを記入しない。

**(2) (1) で記述した課題について施工計画の作成に当たり反映した対応処置とその評価**

ここでは、課題解決のために〇〇〇〇を実施し、その結果どのような結果が得られたかを記入します。 通常テーマの場合の記述の書き方で解説したまとめ方と、原則同じで問題ありません。「施工計画の作成に当たり反映した」という文言があるため、「〇〇を計画し、〇〇を実施した」のようにまとめられたらさらにテーマに沿った解答となります。

最終の評価は、通常テーマの文章と同様に、工程管理の場合→「工期内に作業を終えることができた」/品質管理の場合→「所定の品質を確保することができた」/安全管理の場合→「安全に作業を終えることができた」…のように、「〇〇〇を実施した」その結果、〇〇することができた…と、それぞれのテーマの課題がクリアできたという評価を記入して、記述を締めくくります。土木の令和6年度の出題が8行だったので、2級は同様もしくはやや少な目の6～7行になるのでないかと予想されます。

**[ 2つめのテーマについて ]**

令和6年より施工経験記述の出題されるテーマが2問に増えることが予想されます。

この2問目は、それぞれの準備した文章だけでなく、現場を思い出し記述する「アドリブ力」が求められる問題となります。

- ・施工計画（事前調査）
- ・台風や大雨等の災害時の対策
- ・状況を指定した安全管理（第3者災害の防止対策、重機（工具）に関する災害防止等）
- ・安全施工サイクルにおける留意事項（新規入場者教育実施の留意事項、安全朝礼における伝達事項、
- ・タイミングを指定した品質管理（施工前；準備段階や材料の保管・受入検査、施工中の留意事項、施工後；養生や検査）